

ソフトウェアテストシンポジウム 2010 東京
2010年1月28日
目黒雅叙園

「コードの共同所有」 という文化

自己紹介

- ◎ 今村哲也
 - アンリミテッドワークス 代表
 - 認定スクラムマスター
- ◎ twitter [tetsuyai](#)
- ◎ e-mail mail@tetsuyai.com
- ◎ 独立系 S I e r の子会社 ⇒ 独立
- ◎ ビジネス情報系のシステム開発
 - 官公庁、原子力発電所、空港
- ◎ チームリーダー

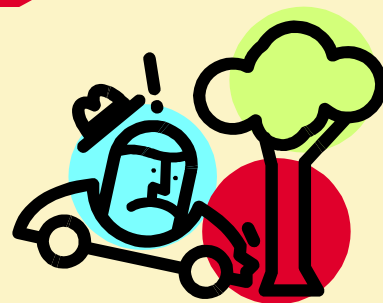
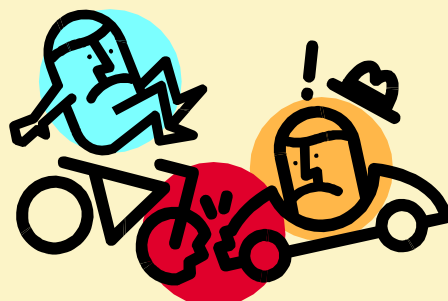
「コードの共同所有」がもたらしたものの

- ◎ リスクの低減
- ◎ 品質の向上
- ◎ チームの自己組織化
- ◎ メンバーの安心感・
信頼感

「コードの共同所有」がもたらしたものの

- ◎ リスクの低減
- ◎ 品質の向上
- ◎ チームの自己組織化
- ◎ メンバーの安心感・信頼感

トラックナンバー



「コードの共同所有」がもたらしたものの

- ◎ リスクの低減
- ◎ 品質の向上
- ◎ チームの自己組織化
- ◎ メンバーの安心感・信頼感

目玉の数と

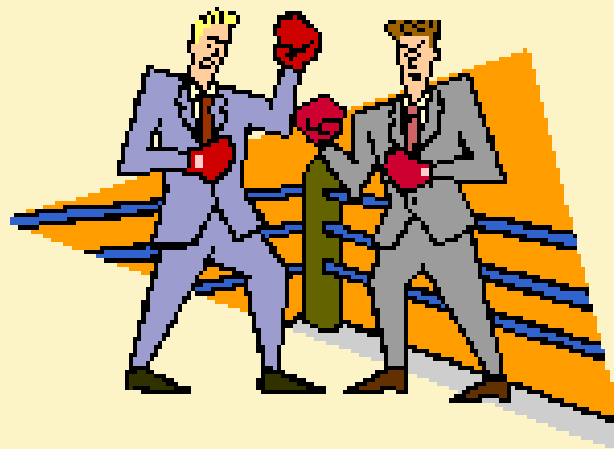
品質は比例する



「コードの共同所有」がもたらしたものの

- ◎ リスクの低減
- ◎ 品質の向上
- ◎ チームの自己組織化
- ◎ メンバーの安心感・信頼感

相手の考えを理解し、
チームの考えを共有
する



「コードの共同所有」がもたらしたものの

- ◎ リスクの低減
- ◎ 品質の向上
- ◎ チームの自己組織化
- ◎ **メンバーの安心感・信頼感**

必要以上に間違えることを怖がる必要がない



「コードの共同所有」とは？

チームで

私たちはみな、
どの部分のコードの品質にも
責任がある

という価値観を共有すること

文化

ある社会組織に
共有されている価値観

Wikipedia

「コードの共同所有」とは

チームに
コードを共同所有する
という文化を育むこと

どうやって？

文化を
育むことができるか？

「コードの共同所有」文化度

Level 1 物理的な 共同所有

- 最新のコードに誰もがアクセスできる。
- コードの履歴に誰もがアクセスできる。

Level 2 知識の 共同所有

- 他人が書いたコードの構造を理解している。
- 他人が書いたコードの背景を理解している。

Level 3 責任の 共同所有

- 他人が書いたコードを積極的にバグフィックスする。
- 他人が書いたコードを積極的にリファクタリングする。

Level 1 物理的な共同所有

◎バージョン管理ツール

- S u b v e r s i o n
- G i t

Level 2 知識の共同所有

- ◎ペアプログラミング

- ◎コードレビュー

- ◎TDD

Level 3 責任の共同所有

- ◎ リファクタリング

- ◎ 継続的結合テスト

 - CruiseControl

- ◎ CREDO

まとめ

- ◎ 「コードの共同所有」はチームの文化
- ◎ メリットはいろいろある
- ◎ プラクティスによって支えられ、育まれる

謝辞

ありがとうございました